

情勢報告（令和6年6月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

シシトウの出荷が始まりました！

～シシトウ部会目慣らし会～



目慣らし会の様子

6月5日、JA高知県れいほく園芸部シシトウ部会が目慣らし会を開催し、部会員18名が参加しました。

JA高知県販売事業本部からシシトウの規格について説明があり、規格についての活発な意見交換が行われました。

普及所からは、夏場のかん水や追肥について説明しました。また会に参加した農業イノベーション推進課から、デジタル温湿度計について説明がありました。

参加者からは「温度だけではなく、湿度も分かるのは良い」などの声が聞かれました。今後も普及所は、生産者の収量・所得の増加につながるよう、JAと連携して栽培・経営指導を行っていきます。

今年の農業振興の方向性を話し合いました ～令和6年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



活発な意見が出されました

6月17日に、嶺北農業改良普及所会議室で、令和6年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員6人、関係機関5人が参加しました。

協議会では、「普及指導計画」により本年度の普及所の活動を説明し、「中山間地農業ルネッサンス事業に係る地域別農業振興計画」及び「第5期産業振興計画」について情報提供を行いました。続いて意見交換を行い、委員から「現状の米価では規模拡大は限界」、「データの見える化をし、活用を」等多数の意見が出されました。

普及所では、協議会でいただいたご意見をふまえ、地域の農業振興に取り組んでいきます。

特産の玉緑茶、製茶技術を高め伝統の味を継承

～大川村玉緑茶審査会～



6月19日、大川村主催により地元の生産者7戸で製茶された玉緑茶11点が出品され、審査会が開催されました。

茶業試験場の職員2名が、外観、香り、水色、味について審査し、普及所は審査の補助を行いました。

審査会場を訪れた生産者2名は出品された茶葉を見比べながら、摘採時期や製茶方法などを振り返り、「今年は新芽の出が早く、摘採時期に雨が多く、適期収穫が難しかった。」とのことでしたが、全体的に品質が良い結果でした。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、茶生産の振興支援に取り組んでいきます。

～カラーピーマン部会現地検討会～



現地検討会の様子

6月21日、JA高知県れいほく園芸部カラーピーマン部会が本山町の栽培ほ場で現地検討会を開催し、部会員14名が参加しました。

ほ場主から耕種概要について説明があり、参加者は生育状況を見ながら、防除や施肥など栽培管理について活発に情報交換が行われました。普及所からは、病虫害防除対策と、市場事故防止対策について説明を行いました。

参加者からは「アブラムシの防除をしたが効かなかった。今回説明してもらった農薬の防除効果試験結果を参考に、次回は効果の高い農薬で防除する」という声がありました。

今後も普及所は、栽培管理技術の向上と市場事故ゼロを目指し、JAと連携して部会活動を支援していきます。